洋１３－９６

「エリジウム」　****

２０１３（平成２５）年８月１４日鑑賞＜ＧＡＧＡ試写室＞

監督：ニール・ブロムカンプ
マックス・ダ・スタン（就院既育ちのアーマゲイン社の工員）／マット・デイモン
デラコート(エリジウムの支配所衛長官）／ジョディ・フォスター
ケルガー（デラコートの手下、元応悪犯のエージェント）／シャールト・コプリー
スパイダー（ロサンゼルスの裏社会を仕切る闇商人）／ワグネル・モウラ
フレイ（マックスの幼なじみの女性、看護師）／アリス・ブラガ
フリオ（マックスのかつての強盗仲間）／ディエゴ・ルナ
ジョン・カーライル（アーマゲイン社のＣＥＯ）／ウィリアム・フィクトナー
パテル（エリジウムの税務）／フランス・タセル
マチルダ（白血病末期にあるフレイの姪）／エマ・トレンブレイ
２０１３年・アメリカ映画・１０９分
配給／ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

＜ますはニール・ブロムカンプ監督の世界観に注目！＞

南アフリカのヨハネスブルグ生まれの若手監督ニール・ブロムカンプのデビュー作となった「第９地区」（０９年）は、そのエニークな世界観で大ヒットし、作品賞、脚本賞などアカデミー賞４部門にノミネートされた（ミシネマルーム２４３０員参照）。そんな彼の、２作目となる本作にみる世界観は？本作が描く時代は、今から約１５０年後の近未来である２１５４年。２１世紀末から続く環境汚染と人口爆発によって、地球は荒廃と混乱が加速。その結果、地球には汚染と貧困の中で生きるしかない多くの貧者が住み、４００キロメートル上空に建造された巨大コロニー「エリジウム」では、約９０万人の超富裕層が豊かな生活を送っていた。医療技術が進んだ１５０年後の「エリジウム」では、人間は年をとらず、病気やケガをしても、医療ポッドに入れば、すぐに完治するらしい。

中国での貧富の格差はムチャクチャだが、２０１１年９月にニューヨークで起きた「ウォール街を占拠せよ」（Ｏｃｃｕｐｙ　Ｗａｌｌ　Ｓｔｒｅｅｔ）運動のように、昨今はアメリカでも日本でも貧富の格差を糾弾する声が強い。しかし、環境汚染と人口爆発がこの通りまじめに、１５０年後の地球はニール監督が描くような現実になっている可能性が高いだろう。それはそれとして十分説可能だが、一握りの超富裕層のためにエリジウムが建造されているという設定は「第９地区」と同じように二ニクク。このように、本作についてはまずはニール監督の世界観に注目！

＜これぞ、弱り目にたたり目！本作の主人公は？＞

そんな地球上のロサンゼルスにある巡査院で育てられたマックス・ダ・コスタ（マット・デイモン）は子供のころから多くの犯罪に手を染めていたが、大人になった今は大企業アーマゲイン社のロボット製造ライン工場で真面目に働いていた。しかし、いつものように朝早く起き、出勤のため通勤バスを待っていると、そこに登場したのは警備ロボット。なるほど、今から１５０年後の地球上の人間はこんな警備ロボットに監視されているわけだ。民主主義国家の優化のようなやの日本では考えられないが、明治時代の日本では「オイコラ警察」というのがあったが、本作にみる警備ロボットの模様ぶりはそれ以上。つい反抗的な態度をとったマックスも大人気ないが、これによってマックスは左頬を骨折させられたうえ、保護観察所に出頭するよう言い渡されたから大変！さらに病院での治療と保護観察所への出頭の他に出勤が遅れると、所長から厳倒されたに挙げ句、「半日分給料を差っ引く。働けるだけでもありがたく思え」とのお言葉が。

それくらいなら「まだ仕方なし」と我慢できるかもしれないが、次の日に出社し、いつものように作業についたマックスがきっちり閉まらないドアの不調を挙えると、所長は「中に入って自分で直せ」とムチャな命令を。しかし、核融炉炉の中に入って作業するのはなかり危険なのでは？案の定、仕方なく核融炉炉の中に入って作業をしていたマックスは、部屋の中に固閉されたうえ大量の照射線を浴びてしまったから、こりゃ大ゴトだ。その治療として、マックスは身体をかろうじて機能させる刺業マイボニール放置を受け取ったものの、即日会社をクビになることもに、余命はあと５日間という過酷な宣告を。まさに、これではマックスは弱り目にたたり目！

＜権力闘争はいつの時代にも！このクーデターの成否は？＞

人類の歴史はある意味で「権力闘争」の歴史だから、いくら科学技術が進歩しても権力闘争はなくならないことが、本作を観ているとよくわかる。また、いくら大多数の下層民には地球の生活と、一握りの超富裕層のエリジウムにおける生活を「区別」しても、時としてその境界を侵そうとするやつがいるのも世の常だ。ニール監督は本作の序章で、地球から３晩の未経験ショットルに乗ってエリジウムへ向かしようとする人間たちの姿を描き出すが、それを阻止するのが、エリジウムの女性防衛長官でデラコート（ジョディ・フォスター）。もっとも、デラコートだけの未経験ショットルの撃墜を地球上に住んでいる元応悪犯のエージェント、クローガー（シャールト・コプリー）に命じたのはいかがなもの？こんな優しげな奴を使わなくても、防衛長官ともなればいくらでも本作を観ているとよくわかる。また、いくら大量